

(HPLC 用蛍光検出器)

仕 様 書

番号	区 分	機 能 ・ 項 目	機 能 ・ 項 目 の 説 明
1	検出器ユニット	感度（水ラマン S / N ）	純水ラマン散乱の S/N が公称値 1200 以上であること。
2		励起波長可変域	励起光の可変範囲が 200～750nm 以上であること。
3		蛍光波長可変域	蛍光発光の可変範囲が 200～750nm 以上であること。
4		波 長 ス キ ャ ン	励起/蛍光の波長を走査可能であること。
5		多波長同時検出	複数の励起/蛍光波長を同時測定可能であること。
6		セ ル 容 量	セル容量が 12 μ L 以下であること。
7		セ ル 耐 圧	セル耐圧が 2MPa 以上であること。
8		ラ ン プ 寿 命	キセノンランプ光源で 2000hr 以上の寿命を持つこと。
9		ラ ン プ 交 換 性	ランプが機種前面アクセス可能で容易であること。
10		ソフトウェア統合	既存 HPLC（Nexera）や制御ソフト（LabSolutions 等）と連携できること。
11		アミノ酸分析適性	OPA/FMOC 誘導体化によるアミノ酸分析が可能であること。
	付 帯 事 項		
1		保 証	検収後 1 年間以上の無償保証期間を有すること。
2		ト レ ー ニ ン グ	装置納入後、職員に対して操作トレーニングを実施すること。
3		設 置	据付、設置を行うこと。
4		納 期	令和 8 年 3 月 3 0 日までに性能確認及び動作確認を終了すること。